

所属 人間生活学部 保育学科		職名 准教授	氏名 今 野 邦 彦	
学位 教育学修士(北海道大学)	特記すべき資格	小学校教諭(二種),中学校教諭(一種),高等学校教諭(二種),特別支援学校教諭(専修),理学療法士	大学院における研究指導担当資格 無	
I 教育活動				
主な担当科目 <学 部> 特別支援教育総論, 肢体不自由児教育, 重複・発達障害児教育総論, 障害児教育実習				
教育実践上の主な業績		年月日	概 要	
1. 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)				
1) レポート課題, 小テスト		2013年4月～現在	講義にあたり, 授業後に毎回レポートまたは小テストを課して学生の理解度を把握している。またレポート中の質問に対しては, 解説を次回の講義でおこなっている。さらに, 授業の感想や授業の進め方に対する要望も受け付け, これをもとに学生とのコミュニケーションを図っている。	
2) 実習		2013年10月～現在	肢体不自由教育及び肢体不自由児教育総論は講義形式の授業だが, 学生の理解を深めるため, 適宜, 実習授業を実施している。	
2. 作成した教科書, 教材				
1) 視聴覚教材		2013年4月～現在	講義にあたり, 毎回, ビデオ・写真・DVDなどの視聴覚教材を活用している。これには, 前職の知的障害校の指導の様子, 肢体不自由校での自身の指導の様子の映像も含まれる(撮影, 放映については許可を得て使用している)。	
2) プリント教材		2013年4月～現在	講義にあたり, 毎回, 自作のプリント・資料を使用している。これらの作成にあたっては, 一般的な教科書, 参考書, 文献を参考にするのはもちろんだが, 自身の現場経験を活かし, できるだけ具体的な事例を多く紹介して学生の理解を深めている。	
3. 教育方法・教育実践に関する発表, 講演等				
1) 第59回北海道私立幼稚園教育研究大会札幌ブロック大会 講師		2016年10月	演題は「重複障害・発達障害の概念や特性の理解と小学校へのつなぎ」。近年, 幼稚園でも課題となっている発達障害のある子どもや重複障害の理解について述べるとともに, 小学校への引き継ぎにおける課題について提言した。	
2) 平成28年度石狩市特別支援教育コーディネーター会議 研修講師		2017年3月	演題は「就学児童生徒, 在籍児童生徒の引き継ぎについて」。「発達障害者支援に関する行政評価・監視 結果報告書」(平成29年1月 総務省)を参照し, 各ライフステージにおける支援の実施状況, 情報の共有について, また放課後等デイサービスの現状と役割について述べた。	
4. その他教育活動上特記すべき事項				
1) 学科主催公開講座		2013年～現在	子どもに関わる様々な問題を考えるということで, 各分野より特別講師を迎え, 年1回, 公開講座を開き, 卒業生や保育に関心のある一般の人たちにも話題・情報を提供している。今後も継続して行う。	
II 研究活動				
研究分野: 特別支援教育		研究キーワード: 肢体不自由, 病弱, 知的障害		
研究課題: ①肢体不自由教育における自立活動指導 ②石狩市における特別支援教育 ③特別支援学校における教育実習				
研究内容: ①肢体不自由教育における自立活動指導の実践についてフィールドワークを行い, 観察調査・面接調査等から, その指導の特徴, 成果と課題を検討している。 ②石狩市の特別支援学級設置校を対象に学生ボランティアを派遣し, 地域の特別支援教育における本学及び本学学生の貢献の可能性を探る。各学校, 教育委員会と連携をとりながら研究を進める。 ③本学保育学科の障害児教育実習を履修している学生及び実習校の指導教員を対象に調査を行い, 教育実習をより充実したものに改善する方策を探求している。				
科学研究費及びその他外部資金の獲得状況:				
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	担当頁及び編者・共著者名
(著 書)				
(学術論文)				
1. 特別支援学級における学生ボランティア導入に関する調査研究(1)(査読付)	単	2015年3月	藤女子大学QOL研究所紀要 第10巻第1号	55-66頁

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	担当頁及び編者・共著者名
2. 特別支援学校における教育実習改善の基礎的研究(3)―教育実習担当指導教員へのアンケート調査から―	共	2016年3月	藤女子大学人間生活学部紀要 第53号	73-79頁 池田浩明, 小川透
3. 特別支援学級における学生ボランティア導入に関する調査研究(2)(査読付)	単	2016年3月	藤女子大学QOL研究所紀要 第11巻第1号	17-23頁
4. 自立活動教諭の専門性と身体性(査読付)	単	2016年3月	藤女子大学QOL研究所紀要 第11巻第1号	57-69頁
5. 特別支援学校の教育実習における学生の意識について(3)―教育実習生へのアンケート調査から―	共	2017年3月	藤女子大学人間生活学部紀要 第54号	97-103頁 池田浩明, 小川透
6. 特別支援学級における学生ボランティア導入に関する調査研究(3)(査読付)	単	2017年3月	藤女子大学QOL研究所紀要 第12巻第1号	69-75頁
7. 特別支援学校における教育実習改善の基礎的研究(4)―文章記述からみた課題の分析―	共	2018年3月	藤女子大学人間生活学部紀要 第55号	95-109頁 池田浩明, 小川透
8. 札幌市における肢体不自由教育の発展：つばみ学級の誕生(査読付)	単	2018年3月	藤女子大学QOL研究所紀要 第13巻第1号	87-96頁
9. 肢体不自由教育と臨床教育学	単	2018年8月	北海道大学大学院教育学研究院紀要第132号	59-74頁
10. 特別支援学校の教育実習における学生の意識について(4)―実習生の意識の変化について―	共	2019年3月	藤女子大学人間生活学部紀要 第56号	1-15頁 原田公人, 矢野潤
11. 札幌市における肢体不自由教育の発展(2)―教育・福祉・医療の融合―(査読付)	単	2019年3月	藤女子大学QOL研究所紀要 第14巻第1号	25-31頁
<b>(その他)</b>				
1. 自立活動教諭に関する研究の動向と意義	単	2014年9月	第52回日本特殊教育学会	ポスター発表
2. 小中学校特別支援学級における学生ボランティアの活用 ―大学から見た成果と課題―	単	2015年9月	第53回日本特殊教育学会	ポスター発表
3. 特別支援教育における自立活動教諭の専門性	単	2015年9月	第5回日本臨床教育学会	口頭発表
4. アンリ・ワロンの発達教育思想を日本の臨床教育学にどう生かすか(2)	共	2015年9月	第5回日本臨床教育学会	口頭発表 共演者: 間宮正幸, 亀谷和史
5. 発達援助実践と発達援助専門職	単	2015年9月	第5回日本臨床教育学会	指定討論者
6. 小中学校特別支援学級における学生ボランティアの活用(2)―学生から見た成果と課題―	単	2016年9月	第54回日本特殊教育学会	ポスター発表
7. アンリ・ワロンの発達教育思想を日本の臨床教育学にどう生かすか(3)	共	2016年9月	第6回日本臨床教育学会	口頭発表 共演者: 間宮正幸, 亀谷和史
8. 北海道における自立活動教諭の実践による専門性の確立―理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の資格をもつ自立活動教諭のアンケート調査から―	共	2017年9月	第55回日本特殊教育学会	ポスター発表 共演者: 古川章子
9. 小中学校特別支援学級における学生ボランティアの活用(3)―3年間の総括と単位化について―	単	2017年9月	第55回日本特殊教育学会	ポスター発表
10. アンリ・ワロンの発達教育思想を日本の臨床教育学にどう生かすか(4)	共	2017年10月	第7回日本臨床教育学会	口頭発表 共演者: 間宮正幸, 亀谷和史

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	担当頁及び編者・共著者名
11. 書評『目の見えない人は世界をどう見ているのか』	単	2018年3月	臨床教育学研究 第6巻	121-123頁
12. 札幌市立美香保小中学校つばみ学級の成立過程	単	2018年9月	第56回日本特殊教育学会	ポスター発表
13. 自立活動教諭の専門性	共	2018年9月	第56回日本特殊教育学会	シンポジウム 共演者:古川章子
14. アンリ・ワロンの発達教育思想を日本の臨床教育学にどう生かすか(5)	共	2018年9月	第8回日本臨床教育学学会	口頭発表 共演者:亀谷和史, 間宮正幸
15. 自立活動教諭の活用に向けた調査研究	単	2019年9月	第57回日本特殊教育学会	ポスター発表
16. 自立活動教諭の専門性(2)	共	2019年9月	第57回日本特殊教育学会	シンポジウム 共演者:古川章子
17. アンリ・ワロンの発達教育思想を日本の臨床教育学にどう生かすか(6)	共	2019年10月	第9回日本臨床教育学学会	口頭発表 共演者:亀谷和史, 間宮正幸
<b>III 社会連携・社会貢献</b>				
<b>所属学会</b> 日本特殊教育学会, 日本教育心理学会, 日本臨床教育学学会, 日本生活指導学会, 日本理学療法士学会, 北海道教育学会, 北海道臨床教育学会, 北海道リハビリテーション学会, 北海道理学療法士学会				
<b>(社会的機関の役員委嘱等)</b>				
<全国> 2018年8月～現在		文部科学省『『地域共生社会』の実現に向けた重度障害者の大学相当の学習機会を創出するための実践研究』連携協議会委員		
<道内> 2014年5月～現在 2015年4月～現在 2017年4月～現在 2017年6月～現在 2018年4月～現在 2019年6月～現在		石狩市教育支援委員会委員 北海道肢体不自由療育セミナー実行委員会代表 石狩市障害者総合支援認定審査会委員 札幌市立北翔養護学校学校評議員 北海道星置養護学校学校評議員 石狩市学校支援推進員		
<b>(地域的連携・貢献)</b>				
<b>(国際的連携・貢献)</b>				
<b>IV 学内運営活動</b>				
教務部委員会副委員長, ハラスメント人権委員会委員, 倫理審査委員会委員				
<b>V 学生支援に関する自己研鑽</b>				